

# 竹田市（大分県）

## 【自治体のあらまし】

竹田市は大分県の南西部に位置し、周辺を九重（くじゅう）連山，阿蘇外輪山，祖母傾（そぼかたむき）連山など九州を代表する山々に囲まれ，湧水群や高原をもつ自然豊かな地域である。

昭和 29 年，当時の竹田町，豊岡村，玉来（たまらい）町，松本村，入田（にゅうた）村，姫岳（うばたけ）村，宮砥（みやど）村，菅生（すごう）村，宮城村，城原（きばる）村の 10 カ町村の合併により市制が施行され，その後，昭和 30 年 7 月に大野郡緒方村から大字片ヶ瀬（かたがせ）が編入。平成 17 年 4 月 1 日には，荻町，久住町，直入（なおいり）町と合併して新しい竹田市が誕生した。

大自然を生かした農業が基幹産業である一方，豊かな歴史的遺産や芸術資源も多数有しており，歴史や文化にもふれ合える観光にも力を入れている。

人口 23, 186 人（平成 28 年 3 月 1 日現在）

## 【文化芸術創造都市への代表的な取組】

竹田市はアーティスト・イン・レジデンスの先駆地であり，古くから現在に至るまで市民を中心に活動が続けられ，地域の芸術・文化活動や移住・交流促進にも大きく貢献している。こうした歴史的経緯や地域特性を背景に，市ではアーティスト・イン・レジデンスを主要政策として位置づけている。

また，市は全国に先駆けて 2009 年に「農村回帰宣言」を行い，移住・定住に対するきめ細やかな支援を行っている。これらの文化芸術活動や移住定住促進の拠点として竹田総合学院（T S G）を創設し，地域特性を生かした人材育成と，就労・起業支援，地域資源の発掘を行っている。

## ●農村回帰宣言と移住定住

少子・高齢化，過疎化の克服，コミュニティの再生につながる移住，定住の促進戦略として全国に先駆け，平成 21 年 6 月に農村回帰を宣言，同年 12 月には 100 万人のふるさと回帰を目指す認定 N P O 法人「ふるさと回帰支援センター」と相互協力協定を締結する。

加えて，平成 22 年 6 月に「内に豊かに外に名高く」をコンセプトに都市で生活している人々の農村回帰の受皿として「竹



城下町 竹田

田市農村回帰支援センター」を設立。移住定住希望者に対しサポート態勢や支援制度を提供するとともに、市独自の空き家・空き店舗を活用した積極的な誘致を展開している。現在、移住定住者は 200 名を超えている。

### ●竹田総合学院（ＴＳＧ）構想

農村歴史観光都市としての地域特性を生かした人材育成と就労・起業支援，地域資源の発掘・利用の研究を行うことを目的に，平成 26 年 4 月に開設。

廃校をリニューアルし，農村回帰支援事業により移住した工芸家や職人を迎え，インキュベーション型工房を運営する。国内外から優れた芸術家や工芸家などが滞在制作しているアート・レジデンスにも活用されている。



竹田総合学院（ＴＳＧ）多目的ホール

### ●竹田市アート・レジデンス・プロジェクト

平成 26 年 5 月に竹田市アート・レジデンス・プロジェクトが発足した。このプロジェクトは，竹田市の魅力を情報発信し，市民が作家の滞在施設を登録して創作活動を行い，そこに竹田市での創作活動を希望する作家が国内外から訪れ，一流の感性で捉えられた竹田の風土を，作品を通じて発信している。



第 1 号招聘作家

ナターリア・マクシーモヴァ画伯(ロシア)